

市民アンケート集計結果

1 アンケートの概要

(1) 調査背景・目的

金沢市では、本年3月に「第2次金沢交通戦略」を策定し、「歩行者と公共交通を優先するまちづくり」と「まちなかを核にネットワークでつなぐまちづくり」を基本方針に掲げ、まちなかへの新しい交通システム導入検討や交通機能の連携強化等について取り組んでいるところである。

本調査は、新しい交通システム導入検討にあたり、過度に車に依存せず、誰もが使いやすい交通環境を目指していくために、公共交通に関する現状や課題を把握し、今後の施策に活かすことを目的とする。

(2) 調査実施概要

① 調査期間

平成28年11月23日～平成28年12月22日まで

② 配布箇所

- ①金沢市交通まちづくり市民フォーラム会場（平成28年11月23日開催）
- ②金沢学生のまち市民交流館
- ③高砂大学
- ④WEBアンケート調査

③ 調査方法

- ・市民フォーラム来訪者、ホームページ等を通じて周知し、メール又は郵送にて回収

④ 回収数

361 通

⑤ 調査項目

個人属性：年齢、性別、免許所持有無、自動車保有有無

普段の移動について：移動手段（平日・休日別）、居住地、通勤・通学・お出かけ先

バス利用時の移動について：頻度、目的、よく利用するバス停、利用する理由、利用しない理由、バスへの要望

電車利用時の移動について：頻度、目的、よく利用する駅、利用する理由

タクシー利用時の移動について：頻度、目的、利用する理由

公共交通全般について：自由意見

自動車での移動について：頻度、目的、公共交通への転換意向、転換に際し公共交通に求めるもの

パーク・アンド・ライドについて：認知度、利用頻度、利用するために求めるもの

まちなかへの来訪について：頻度、目的、手段

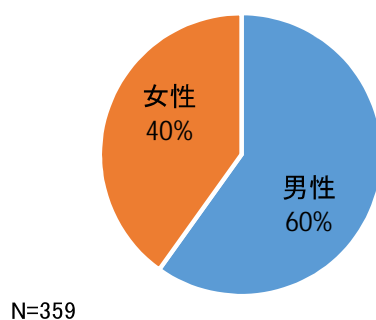
新しい交通システムについて：利用するために求めるもの、導入に際し避けるべき影響、乗り換えに許容できる条件、自由意見

2 アンケート集計結果

(1) 個人属性

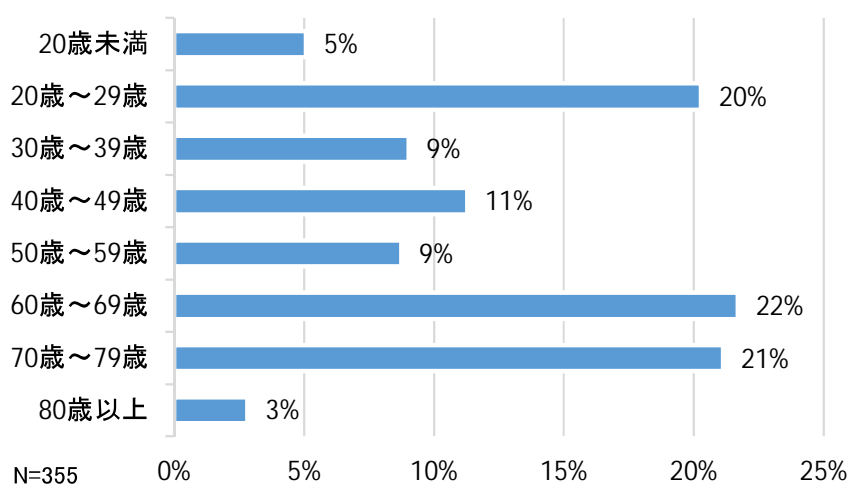
① 性別

- 男性が 6 割、女性が 4 割と、男性の割合がやや多い。



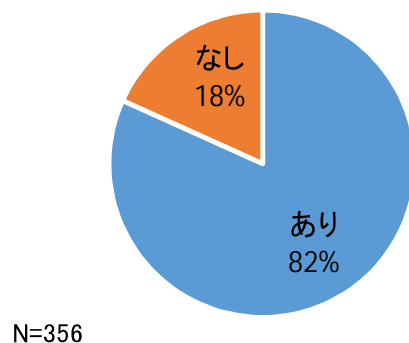
② 年齢

- 60 代～70 代、20 代がそれぞれ 2 割、30 代～50 代がそれぞれ 1 割前後である。



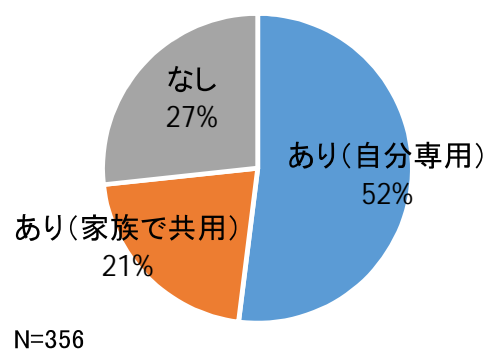
③ 免許所持

- 「あり」と回答した人が 8 割を占めている。



④ 自動車保有

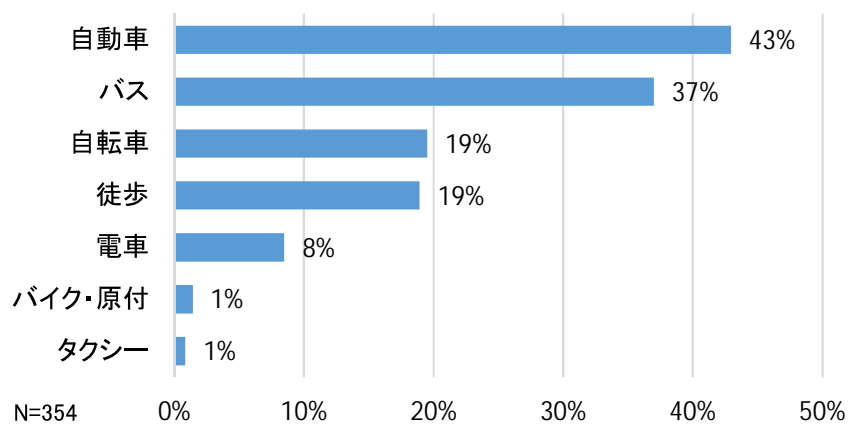
- 「あり（自分専用、家族で共用）」と回答した人が 7 割以上を占めている。



(2) 普段の移動について

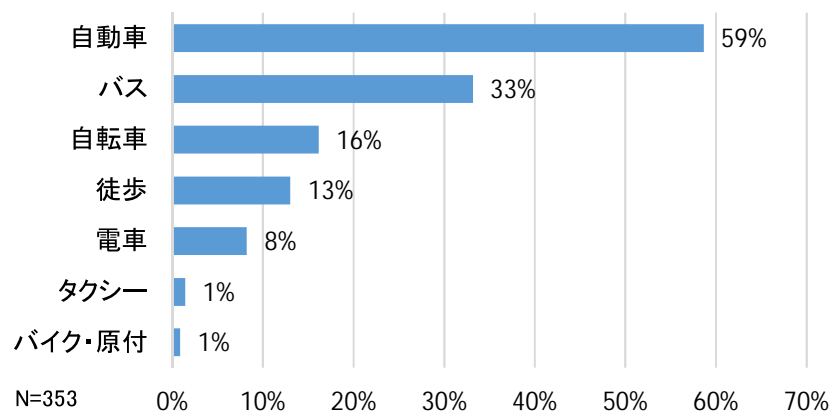
① 移動手段（平日）

- 自動車が約4割と最も多いが、バスも4割近くを占め、通勤・通学に主要な手段であることがうかがえる。



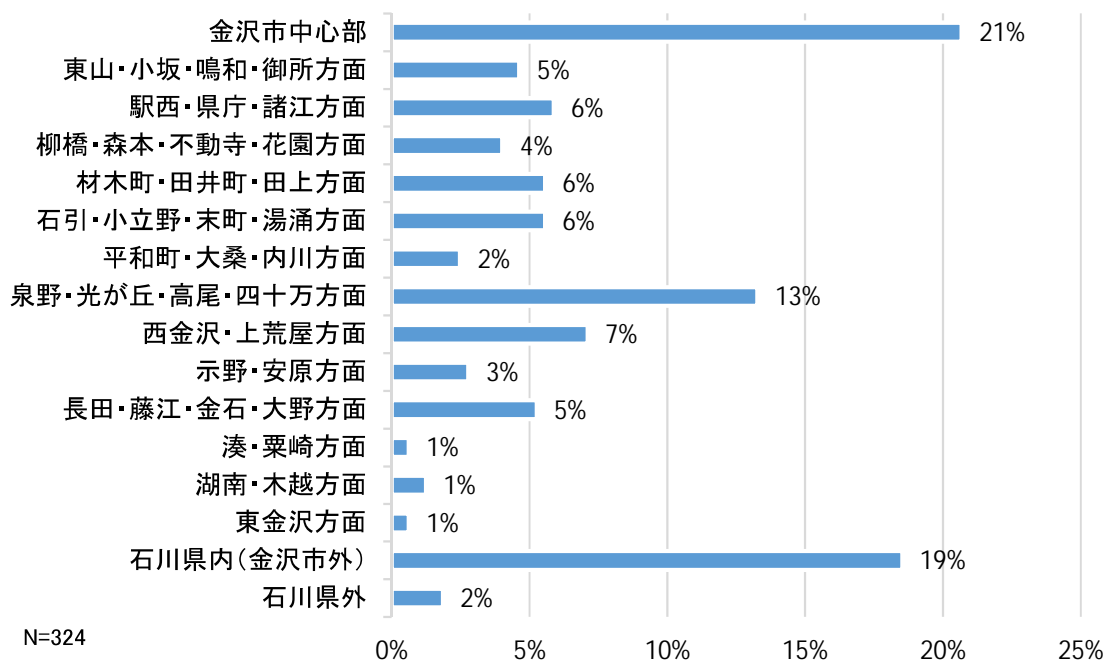
② 移動手段（休日）

- 自動車が6割近くを占め、休日の主要な手段であることがうかがえる。



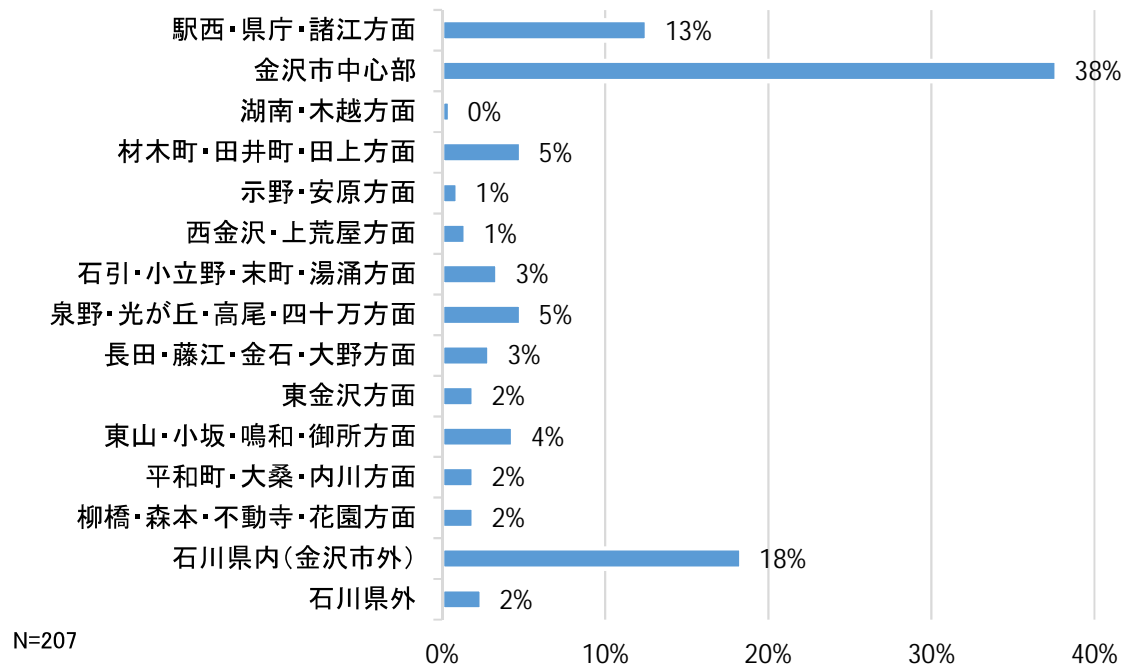
③ 居住地

- 金沢市中心部が最も多く、次いで石川県内（金沢市外）、泉野・光が丘・高尾・四十万方面が多い。



④ 通勤・通学・お出かけ先

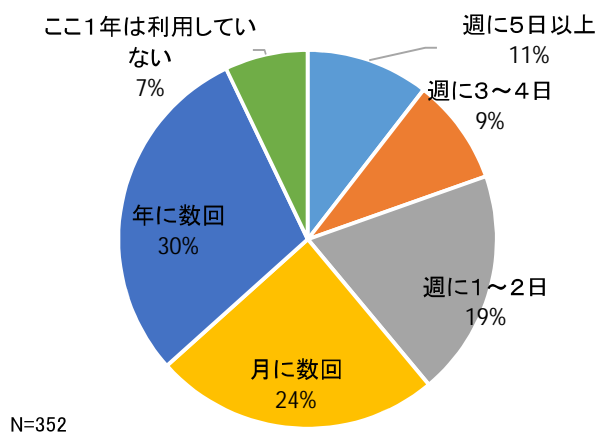
- 金沢市中心部が最も多く、次いで石川県内（金沢市外）、駅西・県庁・諸江方面が多い。



(3) バス利用時の移動について

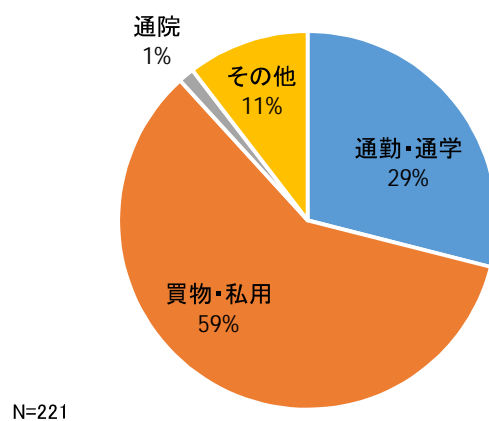
① 利用頻度

- 月に数回以上利用する定期的な利用者は計約 6 割程度である。
- 一方、年に数回程度以下しか利用しない人が約 4 割程度となっている。



② 利用目的

- 買物・私用が約 6 割と最も多く、次いで通勤・通学が約 3 割となっている。



③ よく利用するバス停

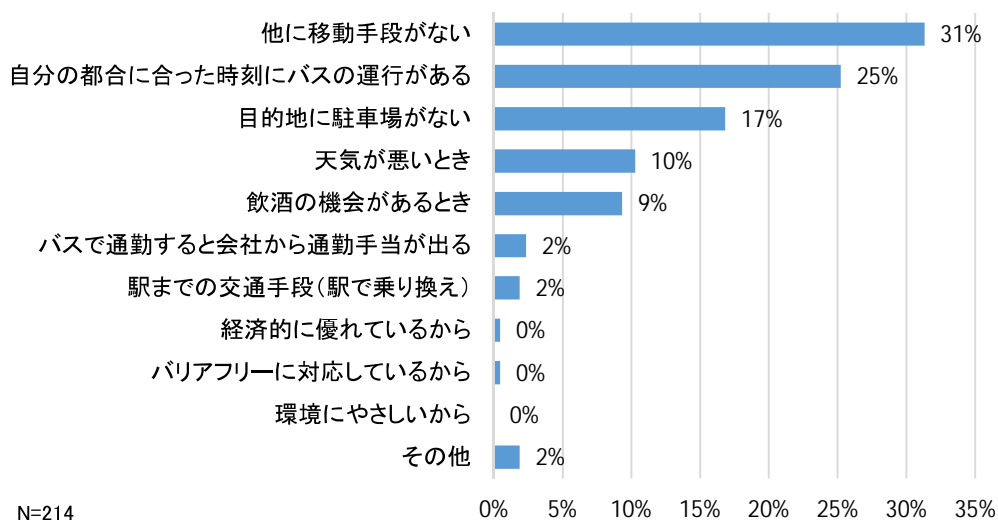
- 出発バス停、目的バス停（上位 10 件）共に、金沢市中心部が最も多く、次いで郊外が多い。

出発バス停(上位10件)	回答数
金沢駅	19
武蔵ヶ辻	12
香林坊	8
東部車庫	5
平和町	4
片町	4
若松	4
野町	3
泉が丘	3
泉丘高校前	3
(その他)	147
回答者計	212

目的バス停(上位10件)	回答数
香林坊	58
武蔵ヶ辻	50
金沢駅	32
片町	31
県庁前	4
金沢大学	4
金沢高校前	2
加賀産新庄	2
広坂	2
金沢駅西口	2
(その他)	21
回答者計	208

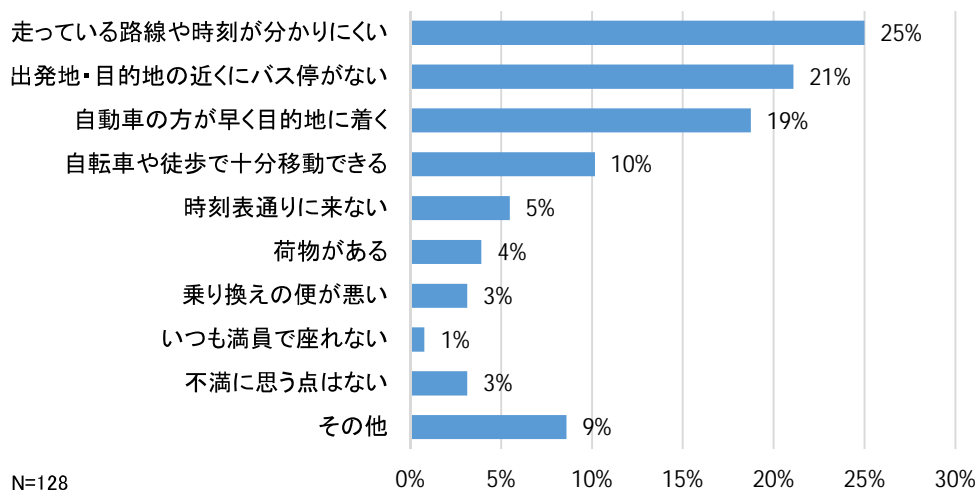
④ 利用する理由（月に数回以上バスを利用すると回答した方）

- 「他に移動手段がない」との回答が約 3 割と最も多い。



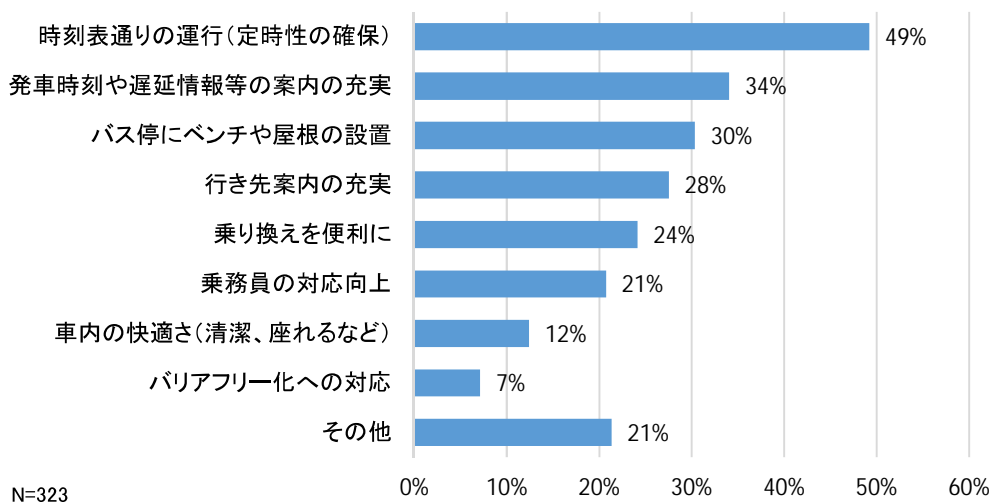
⑤ 利用しない理由（年に数回程度以下しかバスを利用しないと回答した方）

- 利用しない理由として、「走っている路線や時刻が分かりにくい」との回答が 25%と最も多く、次いで「出発地・目的地の近くにバス停がない」との回答が 21%となっている。



⑥ バスへの要望

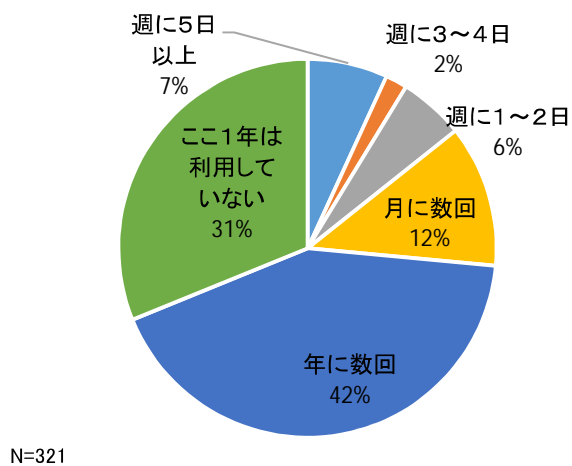
- バスへの要望として、「時刻表通りの運行」との回答が 49%と最も多く、次いで「発車時刻や遅延情報等の案内の充実」との回答が 34%となっている。



(4) 電車利用時の移動について

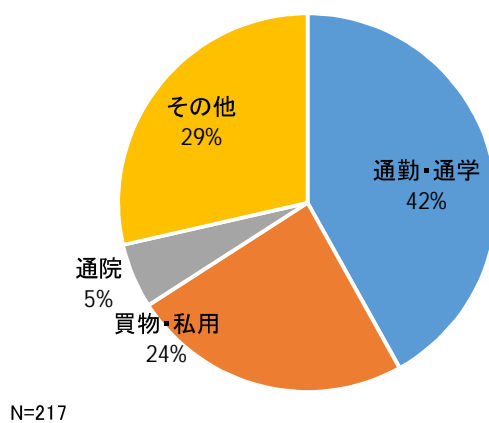
① 利用頻度

- 「年に数回」との回答が 42%と最も多く、次いで「ここ 1 年は利用していない」との回答が 31%となっている。



② 利用目的

- 「通勤・通学」との回答が最も多く、約 4 割を占めている。



③ よく利用する駅

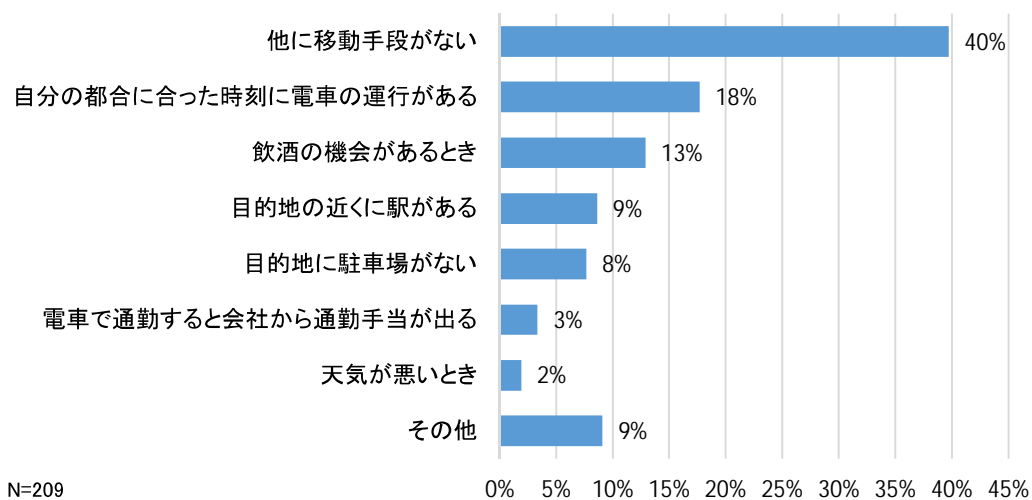
- 出発駅は、「金沢駅」が最も多く、次いで「野々市駅」が多い。
- 目的駅は、「金沢駅」が最も多く、次いで「東京駅」が多い。

出発駅(上位10件)	回答数
金沢駅	101
野々市駅	13
野町駅	11
東金沢駅	11
西金沢駅	8
森本駅	5
松任駅	4
三ツ屋駅	3
馬替駅	3
野々市工大前駅	3
(その他)	34
回答者計	196

目的駅(上位10件)	回答数
金沢駅	50
東京駅	21
富山駅	11
野町駅	10
小松駅	8
大阪駅	8
東金沢駅	5
松任駅	5
野々市駅	5
羽咋駅	4
(その他)	59
回答者計	186

④ 利用する理由

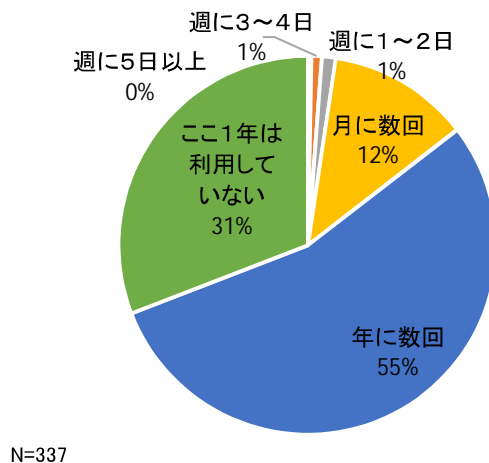
- 「他に移動手段がない」との回答が4割と最も多い。



(5) タクシー利用時の移動について

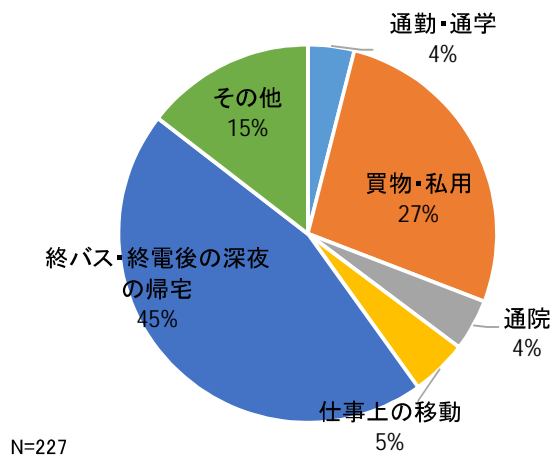
① 利用頻度

- 「年に数回」との回答が 55%と最も多く、次いで「ここ 1 年は利用していない」との回答が 31%となっている。



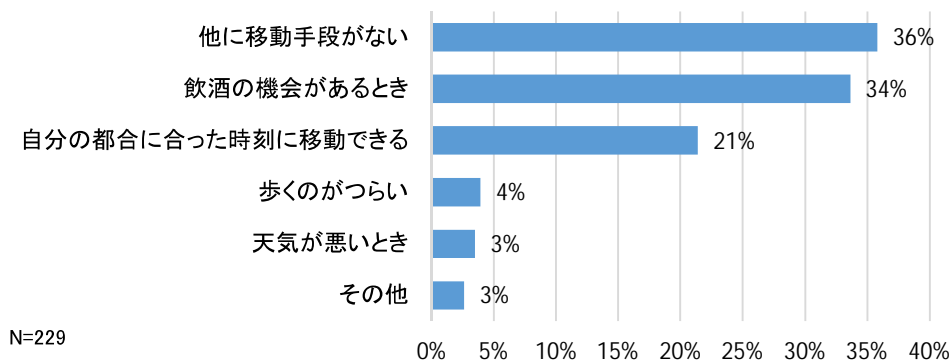
② 利用目的

- 「終バス・終電後の深夜の帰宅」との回答が 45%と最も多く、次いで「買物・私用」との回答が 27%となっている。



③ 利用する理由

- 「他に移動手段がない」との回答が36%と最も多い。



(6) 公共交通全般について

① 自由意見

- バスに対する「定時性」「運行本数」「料金」といったソフト面に関する意見が多い。
- 公共交通全般に対して利便性を高めてほしいといった意見も多い。

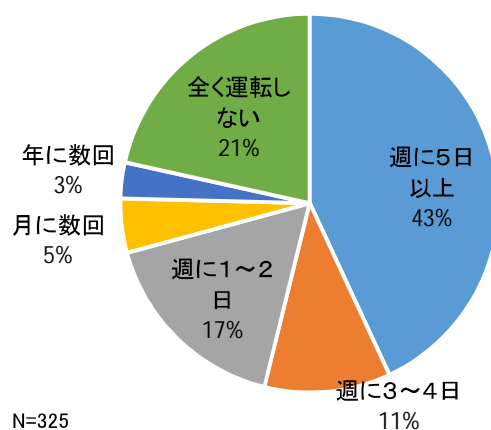
【自由意見概要】

バスに対する意見	ソフト	46	運行本数が少ない、定時性を確保して欲しい 等
	ハード	16	バス停環境を改善して欲しい 等
	その他	6	
電車に対する意見		7	電車の本数が少ない 等
タクシーに対する意見		2	料金が安い 等
新しい交通システムに対する意見		20	高齢者に優しい交通システムがよい 等
公共交通全般に対する意見		35	観光客に対して案内を充実して欲しい 等
行政・事業者等に対する意見		9	金沢市だけでなく隣接自治体や石川県も協議に参加すべき 等
好意的な意見		8	昔に比べ渋滞が少なくなった 等

(7) 自動車利用時の移動について

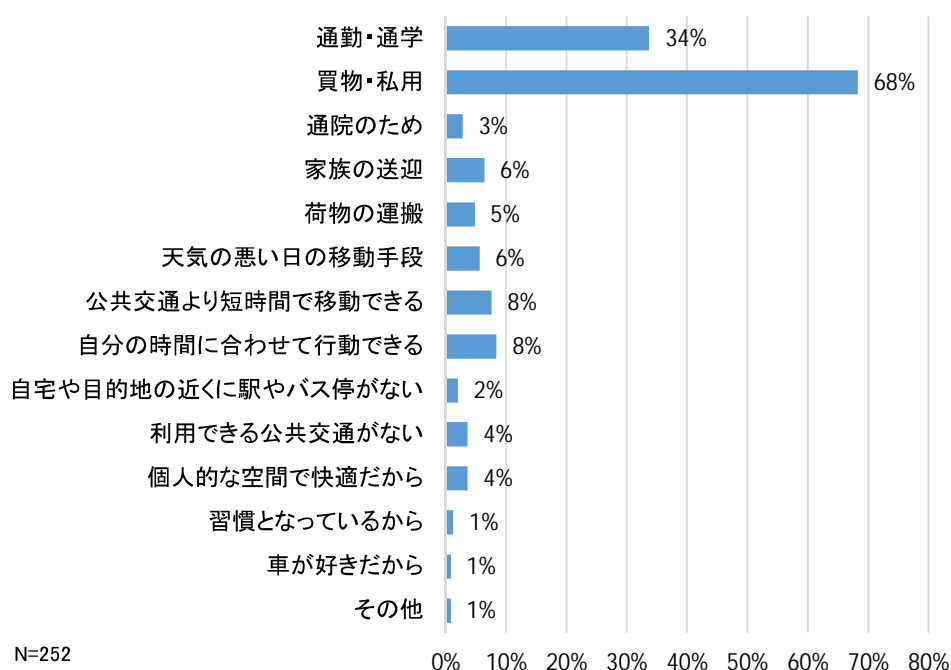
① 利用頻度

- 「週に5日以上」との回答が43%と最も多く、次いで「全く運転しない」との回答が21%となっている。



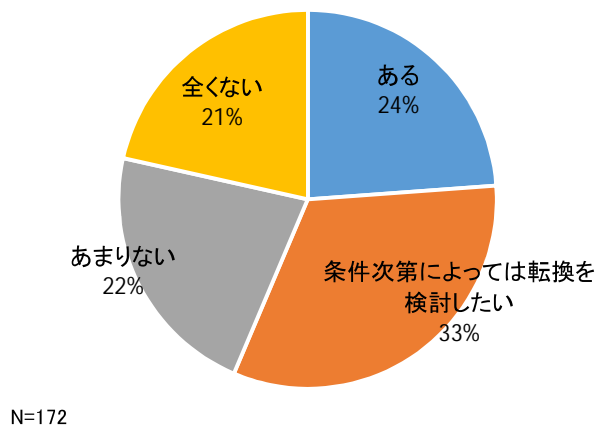
② 利用目的

- 「買物・私用」との回答が約7割を占めており、次いで「通勤・通学」が約3割を占めている。



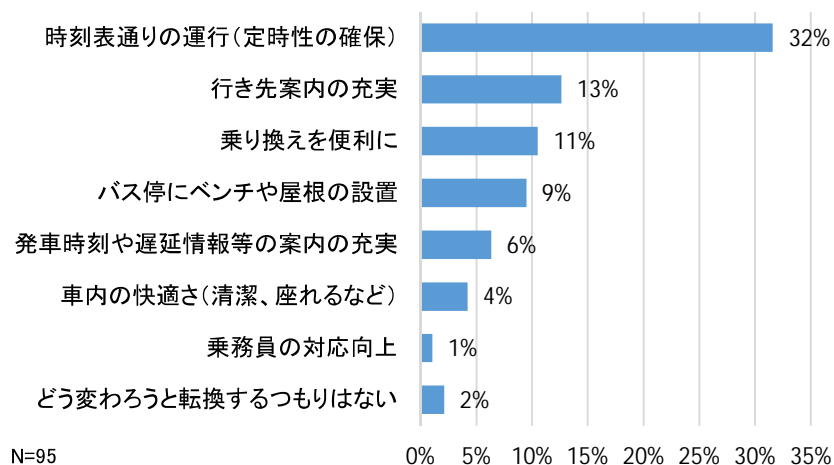
③ 公共交通への転換意向

- 「条件次第によっては転換を検討したい」との回答が約3割で最も多く、「ある」「全くない」との回答にはあまり差がない。



④ 転換に際し公共交通に求めるもの

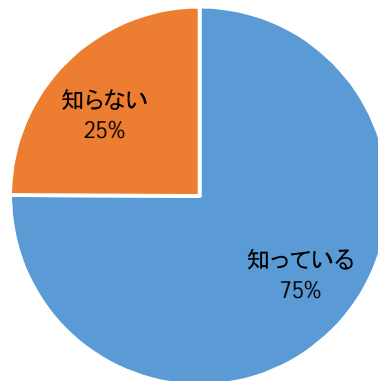
- 「時刻表通りの運行」との回答が32%と最も多く、定時性の確保が求められている。



(8) パーク・アンド・ライドについて

① 認知度

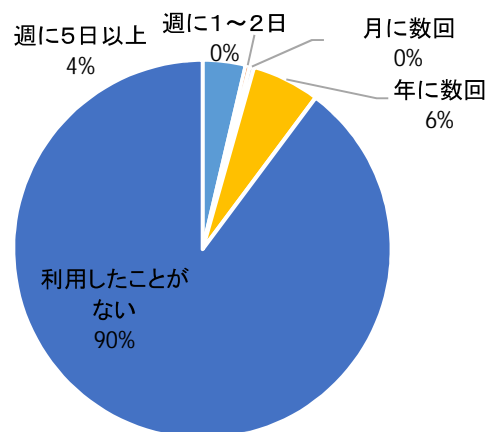
- 「知っている」と回答した人が 7 割以上占めている。



N=289

② 利用頻度

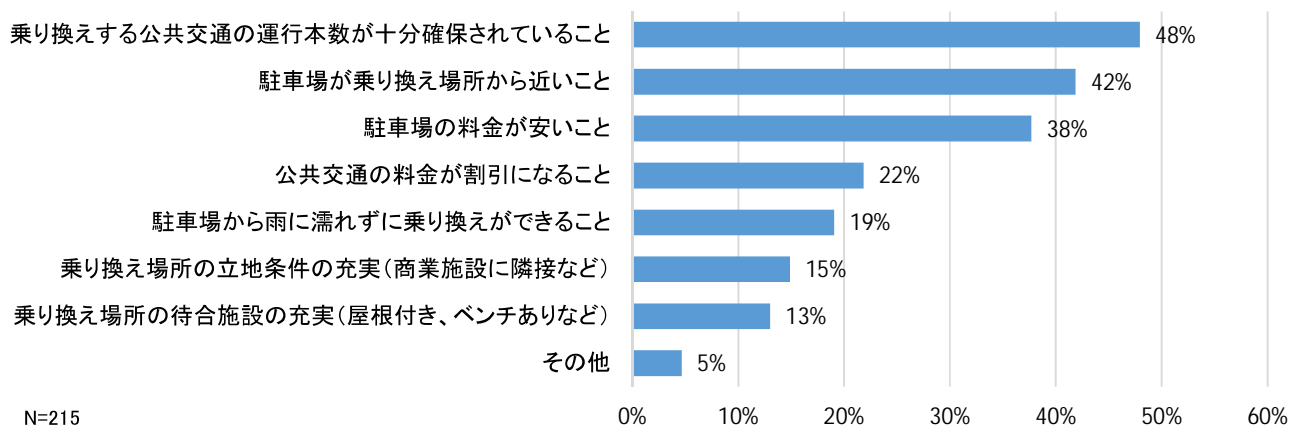
- 「利用したことがない」と回答した人が 9 割を占めている。



N=274

③ 利用するために求めるもの

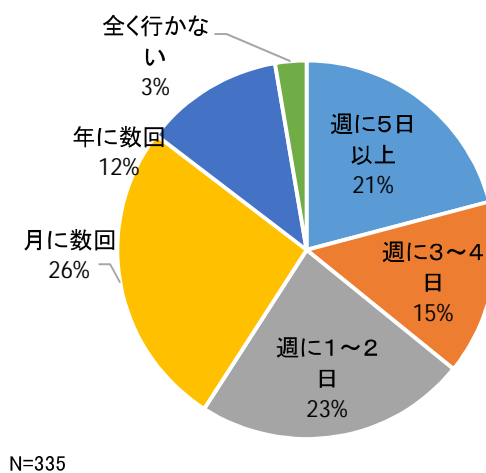
- 「乗り換えする公共交通の運行本数が十分確保されていること」との回答が約 5 割で最も多く、次いで「駐車場が乗り換え場所から近いこと」との回答が約 4 割を占めている。



(9) まちなかへの来訪について

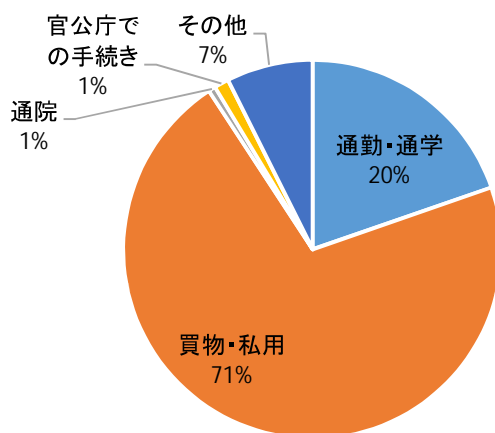
① 来訪頻度

- 「月に数回」との回答が 26%と最も多く、次いで「週に 1～2 日」との回答が 23%となっている。



② 来訪目的

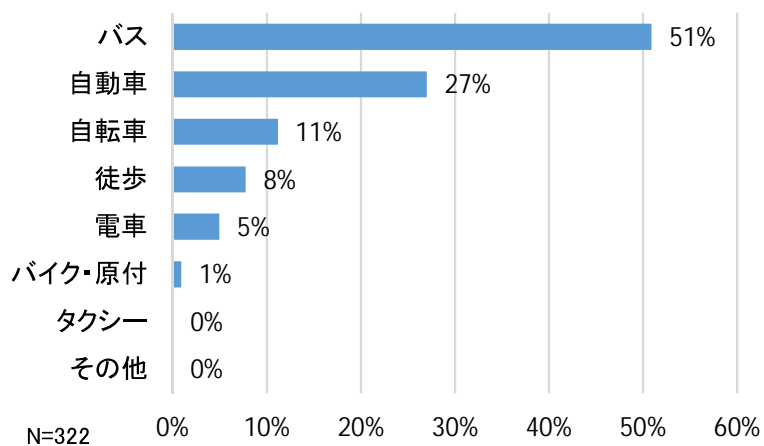
- 「買物・私用」との回答が約 7 割で最も多く、次いで「通勤・通学」との回答が 2 割を占めている。



N=325

③ 来訪手段

- 「バス」との回答が 51% で最も多く、次いで「自動車」との回答が 27% となっている。

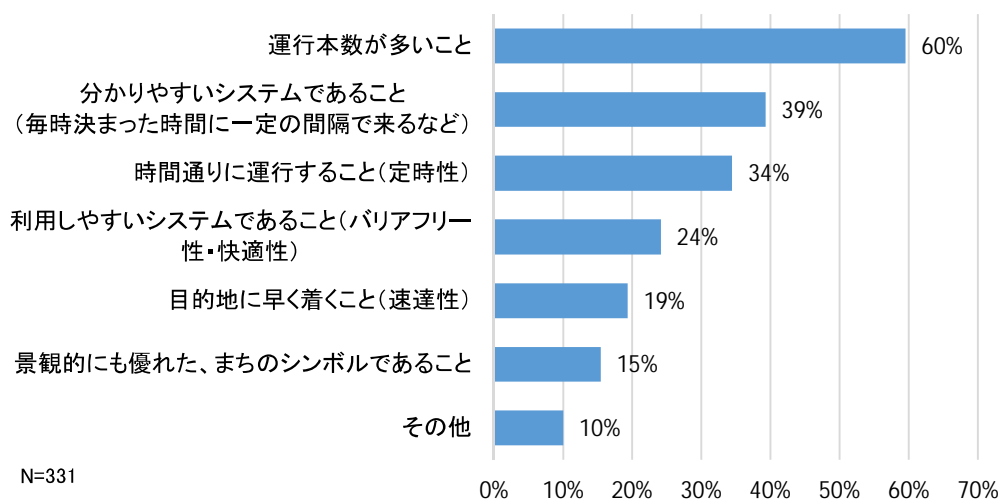


N=322

(10) 新しい交通システムについて

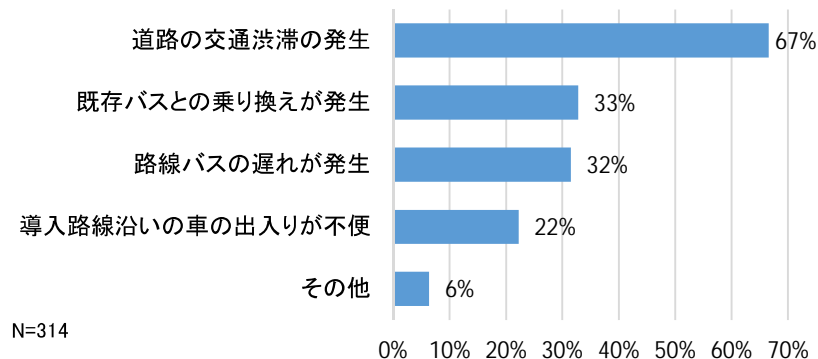
① 利用するために求めるもの

- 「運行本数が多いこと」との回答が 60%と最も多く、次いで「分かりやすいシステムであること」との回答が 39%となっている。



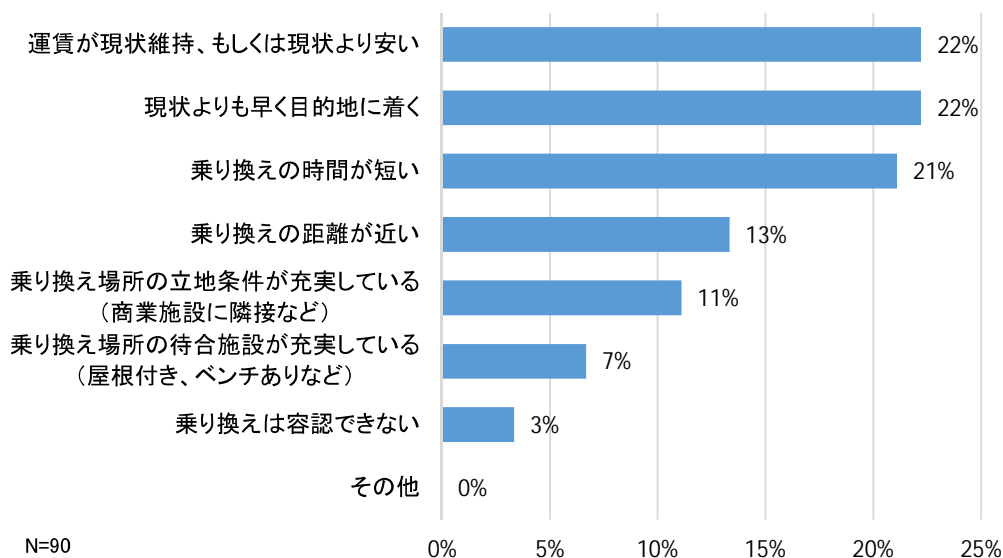
② 導入に際し避けるべき影響

- 導入に際し避けるべき影響として、「道路の交通渋滞の発生」との回答が 67%と最も多い。



③ 乗り換えに許容できる条件

- 「運賃が現状維持、もしくは現状より安い」、「現状よりも早く目的地に着く」、「乗り換えの時間が短い」との回答がそれぞれ約 2 割となっており、条件については意見が分かれている。



④ 新しい交通システムに関する自由意見

- 新しい交通システムを導入すべきとの声が多い。そのなかで特定の機種を挙げていない方が約半数と最も多く、次いで LRT を挙げた方が 3 分の 1 程度である。
- 現状の改善を図るべきという意見も 3 分の 1 程度と多くなっている。

